



## Cisco ボイスメール ポートの設定

---

オプションのソフトウェアである Cisco Unity または Cisco Unity Connection は、シスコ ユニファイド コミュニケーション ソリューションの一環として利用され、ユーザがコールに応答できないときに、ボイス メッセージ機能を提供します。この項では Cisco ボイスメール ポートを追加、設定、更新、および削除する手順について説明します。この手順は [Cisco Unified Communications Manager の管理] ページの [ボイスメール] メニューから、[Cisco ボイスメールポート] を選択することによって実行できます。

Cisco Unity を設定する方法については、該当する『*Cisco Unified Communications Manager Integration Guide for Cisco Unity*』を参照してください。

ボイス メッセージと Cisco Unified Communications Manager との接続性の詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager システム ガイド*』の「ボイスメールの Cisco Unified Communications Manager への接続性」を参照してください。

Cisco ボイスメール サーバに関連したポートは、Cisco ボイスメール ポート ウィザードを使用せずに、Cisco Unified Communications Manager データベースに追加したり、削除したりすることができます。ここでは、次の手順について説明します。

- [Cisco ボイスメール ポートの検索 \(P.74-2\)](#)
- [Cisco ボイスメール ポートの設定 \(P.74-4\)](#)
- [Cisco ボイスメール ポートの設定値 \(P.74-5\)](#)
- [Cisco ボイスメール ポートの削除 \(P.74-9\)](#)

## Cisco ボイスメール ポートの検索

通常、ネットワーク内にはいくつかの Cisco ボイスメール ポートが存在するため、Cisco Unified Communications Manager では、固有の条件を指定して、特定の Cisco ボイスメール ポートを見つけることができます。Cisco ボイスメール ポートを見つける手順は、次のとおりです。



(注) Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、ブラウザセッションでの作業中は、Cisco ボイスメール ポートの検索設定が保持されます。別のメニュー項目に移動してからこのメニュー項目に戻ってくる場合でも、検索に変更を加えたり、ブラウザを閉じたりしない限り、Cisco ボイスメール ポートの検索設定は保持されます。

### 手順

**ステップ 1** [ボイスメール] > [Cisco ボイスメールポート] の順に選択します。

[ボイスメール ポートの検索と一覧表示 (Find and List Voice Mail Ports)] ウィンドウが表示されます。アクティブな (前回の) クエリーのレコードも、ウィンドウに表示されることがあります。

**ステップ 2** データベース内のすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空であることを確認し、**ステップ 3** に進んでください。

レコードをフィルタリングまたは検索する手順は、次のとおりです。

- 最初のドロップダウン リストボックスから、検索パラメータを選択します。
- 2 番目のドロップダウン リストボックスから、検索パターンを選択します。
- 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。



(注) 検索条件を追加するには、[+] ボタンをクリックします。条件を追加すると、指定したすべての条件に一致するレコードが検索されます。条件を削除するには、[-] ボタンをクリックして最後に追加した条件を削除するか、[フィルタのクリア] ボタンをクリックして、追加したすべての検索条件を削除してください。

**ステップ 3** [検索] をクリックします。

一致するすべてのレコードが表示されます。[ページあたりの行数] ドロップダウン リストボックスから別の値を選択して、各ページに表示する項目の数を変更できます。



(注) 該当するレコードの横にあるチェックボックスをオンにして [選択項目の削除] をクリックすると、複数のレコードをデータベースから削除できます。[すべてを選択] をクリックして [選択項目の削除] をクリックすると、この選択対象として設定可能なすべてのレコードを削除できます。

**ステップ 4** 表示されたレコードのリストで、表示するレコードのリンクをクリックします。



(注) リストのヘッダーに上矢印または下矢印がある場合、その矢印をクリックして、ソート順序を逆にします。

選択した項目がウィンドウに表示されます。

#### 追加情報

P.74-10 の「[関連項目](#)」を参照してください。

## Cisco ボイスメール ポートの設定

Cisco ボイス メッセージ システムを Cisco Unified Communications Manager に接続するには、Cisco Unified Communications Manager データベースに Cisco ボイスメール ポートを追加する必要があります。



### ヒント

新規 Cisco ボイスメール サーバとポートを追加したり、既存のサーバに複数のポートを追加するには、この項で説明されている手順のほかに、Cisco ボイスメール ポート ウィザードを使用することもできます。詳細については、P.75-1 の「Cisco ボイスメール ポート ウィザード」を参照してください。

個々の Cisco ボイスメール ポートを Cisco Unified Communications Manager データベースに追加する手順と、既存のボイスメール ポートを更新またはコピーする手順は、次のとおりです。

### 手順

**ステップ 1** [ボイスメール] > [Cisco ボイスメールポート] の順に選択します。

[ボイスメール ポートの検索と一覧表示 (Find and List Voice Mail Ports)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** 次のいずれかの作業を行います。

- Cisco ボイスメール ポートとその設定をコピーするには、該当する Cisco ボイスメール ポートを見つけます (P.74-2 の「Cisco ボイスメール ポートの検索」を参照)。  
[検索結果 (Search Results)] リストから、コピーするボイスメール ポートに対応する [コピー (Copy)] アイコンをクリックし、ステップ 3 に進みます。
- 新しいボイスメール ポートを追加するには、[新規追加] ボタンをクリックします。  
[ボイスメールポートの設定 (Voice Mail Port Configuration)] ウィンドウが表示されます。ステップ 3 に進みます。
- 既存の Cisco ボイスメール ポートを更新するには、該当するボイスメール ポートを見つけます (P.74-2 の「Cisco ボイスメール ポートの検索」を参照)。  
更新するボイスメール ポートをクリックし、ステップ 3 に進みます。

**ステップ 3** 適切な設定値を入力します (表 74-1 を参照)。

**ステップ 4** [保存] をクリックします。

既存の Cisco ボイスメール ポートの基本設定をコピーして、別の Cisco ボイスメール ポートに適用する場合は、[ポート名 (Port Name)] フィールドと [電話番号] フィールドを変更する必要があります。

### 追加情報

P.74-10 の「関連項目」を参照してください。

## Cisco ボイスメール ポートの設定値

表 74-1 では、Cisco ボイスメール ポートの設定値について説明します。関連する手順の詳細については、P.74-10 の「[関連項目](#)」を参照してください。

表 74-1 Cisco ボイスメール ポートの設定値

フィールド	説明
[デバイス情報 (Device Information)]	
[ポート名 (Port Name)]	<p>Cisco ボイスメール ポートを識別する名前を入力します。Cisco ボイス メッセージ システム上でポートごとにデバイスを追加する必要があります。24 個のポートがある場合は、24 個のデバイスを定義する必要があります。</p> <p>名前は 9 文字以内になしてください。</p> <p> <b>(注)</b> Cisco Unity では、この名前が CiscoUM-V11 または Cisco UM-V12 などの Unity Telephony Integration Manager (UTIM) コンフィギュレーション ファイルの名前と一致する必要があります。</p>
[説明]	デバイスの目的を明確にした説明を入力します。
[デバイスプール]	デフォルト値または特定のデバイス プールを選択します。
[共通デバイス設定]	このデバイスを割り当てる共通デバイス設定を選択します。共通デバイス設定には、特定のユーザに関連付けられた属性(サービスまたは機能)が含まれています。共通デバイス設定は、[共通デバイス設定 (Common Device Configuration)] ウィンドウで設定します。詳細については、P.93-1 の「 <a href="#">共通デバイス設定</a> 」を参照してください。

表 74-1 Cisco ボイスメール ポートの設定値 (続き)

フィールド	説明
[コーリングサーチスペース]	<p>ドロップダウン リスト ボックスから、適切なコーリング サーチ スペースを選択します。コーリング サーチ スペースは、このデバイスからコールされる番号を見つけるために検索されるパーティションの集合から構成されます。登録者の番号およびネットワーク デバイスへのコールを可能にするコーリング サーチ スペースの名前を選択します。</p> <p><b>Max List Box Items</b> エンタープライズ パラメータを使用して、このドロップダウン リスト ボックスで表示するコーリング サーチ スペースの数を設定できます。<b>Max List Box Items</b> エンタープライズ パラメータで指定した数よりも多くのコーリング サーチ スペースが存在する場合、ドロップダウン リスト ボックスの横に <b>[検索]</b> ボタンが表示されます。<b>[検索]</b> ボタンをクリックして、[コーリング サーチ スペースの検索と一覧表示 (Find and List Calling Search Spaces)] ウィンドウを表示します。コーリング サーチ スペースの検索条件のフィールドで、検索条件を選択し、コーリング サーチ スペース名の一部を入力します。表示されたコーリング サーチ スペースのリストで、指定したいコーリング サーチ スペースの横にあるチェックボックスをオンにし、<b>[選択項目の追加]</b> をクリックします。</p> <p> <b>(注)</b> リスト ボックスの最大項目を設定するには、<b>[システム]</b> &gt; <b>[エンタープライズパラメータ]</b> の順に選択し、<b>[CCMAdmin Parameters]</b> を選択します。</p>
[AAR コーリングサーチスペース (AAR Calling Search Space)]	<p>自動代替ルーティング (AAR) の実行時にデバイスが使用するコーリング サーチ スペースを選択します。AAR コーリング サーチ スペースは、帯域幅不足によってコールがブロックされないように、収集された (発信) 番号のルーティング方法を決定するために検索されるパーティションの集合を指定します。</p>
[ロケーション]	<p>デフォルト値 <b>[Hub_None]</b> を選択します。</p> <p>ロケーションは、このデバイスとの間のコールに使用可能な帯域幅の合計を指定します。ロケーションに <b>[Hub_None]</b> を設定すると、そのロケーションの機能では、このデバイスが消費する帯域幅を把握しません。</p>
[デバイスセキュリティモード]	<p>ドロップダウン リスト ボックスから、ボイスメール サーバポートに適用するセキュリティ モードを選択します。ここに表示されるオプションは、データベースであらかじめ定義されています。デフォルト値は <b>[選択されていません]</b> です。</p> <p>ボイスメール サーバのセキュリティを設定する方法については、『Cisco Unified Communications Manager セキュリティガイド』を参照してください。</p>

表 74-1 Cisco ボイスメール ポートの設定値 (続き)

フィールド	説明
<b>[電話番号情報 (Directory Number Information)]</b>	
[電話番号]	このボイスメール ポートに関連する番号を入力します。このフィールドと [パーティション (Partition)] フィールドとの組み合わせが、固有のものであることを確認してください。
[パーティション]	<p>この電話番号が属するパーティションを選択します。パーティションを使用しない場合は、[&lt; なし &gt;] を選択してください。パーティションを選択する場合は、そのパーティションを含むコーリング サーチ スペースを選択する必要があります。</p> <p>Max List Box Items エンタープライズパラメータを使用して、このドロップダウン リスト ボックスで表示するパーティションの数を設定することができます。Max List Box Items エンタープライズパラメータで指定した数よりも多くのパーティションが存在する場合、ドロップダウン リスト ボックスの横に [検索] ボタンが表示されます。[検索] ボタンをクリックして、[パーティションの検索と一覧表示 (Find and List Partitions)] ウィンドウを表示します。パーティション名を検索し、選択します (P.45-2 の「パーティションの検索」を参照)。</p> <p> (注) リスト ボックスの最大項目を設定するには、[システム] &gt; [エンタープライズパラメータ] の順に選択し、[CCMAdmin Parameters] を選択します。</p>
[コーリングサーチスペース]	<p>ドロップダウン リスト ボックスから、適切なコーリング サーチ スペースを選択します。コーリング サーチ スペースは、この電話番号からコールされる番号を見つけるために検索されるパーティションの集合から構成されます。パーティションを選択する場合は、そのパーティションを含むコーリング サーチ スペースを選択する必要があります。</p> <p>Max List Box Items エンタープライズパラメータを使用して、このドロップダウン リスト ボックスで表示するコーリング サーチ スペースの数を設定できます。Max List Box Items エンタープライズパラメータで指定した数よりも多くのコーリング サーチ スペースが存在する場合、ドロップダウン リスト ボックスの横に [検索] ボタンが表示されます。[検索] ボタンをクリックして、[コーリングサーチスペースの検索と一覧表示 (Find and List Calling Search Spaces)] ウィンドウを表示します。コーリング サーチ スペース名を検索し、選択します (P.46-2 の「コーリング サーチ スペースの検索」を参照)。</p> <p> (注) リスト ボックスの最大項目を設定するには、[システム] &gt; [エンタープライズパラメータ] の順に選択し、[CCMAdmin Parameters] を選択します。</p>

表 74-1 Cisco ボイスメール ポートの設定値 (続き)

フィールド	説明
[AAR グループ]	このデバイスの自動代替ルーティング (AAR) グループを選択します。AAR グループは、帯域幅不足のためにコールがブロックされないように、コールをルーティングするためのプレフィックス番号を提供します。AAR グループ設定を [なし] にすると、ブロックされたコールの再ルーティングは行われません。
[内線発信者 ID 表示]	この回線からコールが行われるときに、着信側電話機に表示されるテキストを指定します。
[内線発信者 ID 表示]	この回線からコールが行われるときに、着信側電話機に表示されるテキストを ASCII 形式で指定します。
[外線番号マスク]	<p>外部 (発信) コールに対して、発信者 ID 情報をフォーマットするのに使用するマスクを指定します。このマスクには、最長 50 文字までを指定できます。発信者 ID 情報に表示する数字列を入力します。デバイスの電話番号を表すには、X を使用します。</p> <p>自動代替ルーティング (AAR) が帯域幅不足のためにコールをルーティングする場合、余裕のある帯域幅を使用できなければ、Cisco Unified Communications Manager は、このフィールドの値を使用してコールを発信します。</p> <p><b>例</b></p> <p>DN 1000 (外部マスク 9728131000) は DN 1001 (外部マスク 2144131001) をコールします。帯域幅不足のためにコールがブロックされると、Cisco Unified Communications Manager は、AAR プレフィックス番号を 2144131001 と一緒に使用して 1001 にコールを発信します。</p>

## Cisco ボイスメール ポートの削除

Cisco Unified Communications Manager から Cisco ボイスメール ポートを 1 つ削除する手順は、次のとおりです。

### 始める前に

電話番号が使用している Cisco ボイスメール ポートを削除すると、番号は Cisco Unified Communications Manager データベース内に残ります。ボイスメール ポートを使用している電話番号を特定するには、[ボイスメールポートの設定 (Voice Mail Port Configuration)] ウィンドウの [関連リンク] ドロップダウンリストボックスから [依存関係レコード] を選択し、[移動] をクリックします。依存関係レコードがシステムで使用可能になっていない場合、[依存関係レコード要約 (Dependency Records Summary)] ウィンドウにメッセージが表示されます。依存関係レコードの詳細については、[P.A-4](#) の「[依存関係レコードへのアクセス](#)」を参照してください。

使用されているボイスメール ポートを削除しようとする、Cisco Unified Communications Manager はメッセージを表示します。現在使用されているボイスメール ポートを削除する前に、削除するボイスメール ポートを使用している電話番号すべてに別のボイスメール ポートを割り当ててください。[P.57-3](#) の「[電話番号の設定](#)」を参照してください。

ボイスメール ポートを削除した後で、そのボイスメール ポートを使用していた電話番号を削除できます。[P.60-3](#) の「[割り当てられていない電話番号の削除](#)」を参照してください。



### ヒント

既存のサーバからポートを削除するには、この項で説明されている手順の代わりに、Cisco ボイスメール ポート ウィザードを使用することもできます。詳細については、[P.75-1](#) の「[Cisco ボイスメール ポート ウィザード](#)」を参照してください。

### 手順

- ステップ 1** [ボイスメール] > [Cisco ボイスメールポート] の順に選択します。
- ステップ 2** [P.74-2](#) の「[Cisco ボイスメール ポートの検索](#)」の手順を使用して、Cisco ボイスメール ポートを検索します。
- ステップ 3** 削除する Cisco ボイスメール ポートをクリックします。
- ステップ 4** [削除] をクリックします。

### 追加情報

[P.74-10](#) の「[関連項目](#)」を参照してください。

## 関連項目

- [Cisco ボイスメール ポートの検索 \(P.74-2\)](#)
- [Cisco ボイスメール ポートの設定 \(P.74-4\)](#)
- [Cisco ボイスメール ポートの設定値 \(P.74-5\)](#)
- [Cisco ボイスメール ポートの削除 \(P.74-9\)](#)
- [Cisco ボイスメール ポート ウィザード \(P.75-1\)](#)
- 『*Cisco Unified Communications Manager システム ガイド*』の「Cisco Unity と Cisco Unity Connection の設定チェックリスト」